

# Europe Trends

発表日: 2021年1月8日(金)

## イタリアの連立崩壊危機

～背景には新旧首相の主導権争い～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

◇ 連立崩壊の危機にあるイタリアでは、コンテ首相が復興基金での譲歩案を提示するとともに、小規模な内閣改造で政権崩壊回避を目指す。政権内での影響力確保やコンテ首相の退陣を目論むレンツィ元首相がこれを受け入れるかが次の焦点となる。今回の政変を乗り切れば、大統領任期の関係で年内の解散・総選挙の可能性は遠退く。

連立政権が崩壊の危機にあるイタリアでは7日、欧州復興基金の利用申請に必要な復興計画の修正案が与党に提示された。イタリアに約2000億ユーロが配分予定の欧州復興基金の使い道とガバナンスの在り方は、連立離脱を示唆するレンツィ元首相が率いる小政党イタリア・ビバが最も重視する政府への要望事項の1つだ。新たな提案には経済成長や産業構造転換を促進し、医療や若年層への支援を強化する内容が盛り込まれたとされ、これはレンツィ氏の要求に沿った形となる。当初7日に予定された新たな復興計画の議会審議は、与党や閣内での調整後に先送りされた。現地時間の8日夕方に予定されるコンテ首相と与党党首との会談の場で、レンツィ氏が修正案を受け入れるかどうか政権存続の是非を占う次の焦点となる。

今回の政変にはコンテ首相とレンツィ元首相の主導権争いが見え隠れする。政治経験のない法学者出身のコンテ首相は、五つ星運動と同盟のポピュリスト2党による前政権で首相に担ぎ出された際は、お飾り的な存在と受け止められていた。だが、その後の政権運営では両党の間を取り持つとともに、ポピュリスト政権の暴走を食い止めるアンカー役を果たし、国際社会での信頼を獲得することに成功した。2019年秋に同盟を率いるサルビーニ党首が政権奪取の機会を窺い連立を離脱した際には、五つ星運動と民主党を中心とした新たな連立政権でも首相に再指名された。コンテ首相はイタリアがコロナ禍に苦しむなかで強いリーダーシップを発揮し、国民から高い支持を得ている。トップダウン型の政権運営を志向しがちとされ、連立与党内からは首相への権限集中に不満の声も広がっている。

対するレンツィ元首相は、かつて政権与党・民主党内で若手改革派（壊し屋の異名を持つ）として知られた人物で、党内の中道勢力と新党を立ち上げた後も民主党内で一定の影響を持つ。同氏が旗揚げしたイタリア・ビバの保有議席は、定数630の下院で30議席、定数315+終身議員6名の上院で18議席と少ないが、連立政権が過半数を維持するには同党の協力が不可欠な状況にある（表）。イタリア・ビバの支持率は各種の世論調査で3%程度で低迷する。レンツィ氏はコンテ首相に中道票を奪われた形で、同氏の影響力拡大を牽制し、首相退任に追い込む機会を窺っているとされる。

コンテ首相は復興基金での譲歩案を提示するとともに、イタリア・ビバや民主党に幾つかの閣僚ポストを配分する小規模の内閣改造で政権崩壊を回避しようとしている。対するレンツィ氏は恐らくこの段階での総選挙を望んでいる訳ではないが、今後の政権運営での自身の影響力を確保すると

ともに、あわよくばコンテ首相を退陣に追い込むことを目論んでいる。内閣総辞職となった場合も、議会の解散権を持つマッタレツァ大統領はコロナ危機対応を優先し、総選挙を経ずに次の政権発足を仲裁するとみられる。1月5日付けレポート「[イタリアの終わりなき政争](#)」で指摘した通り、このまま政権崩壊で解散・総選挙となれば、同盟やイタリアの同胞が率いる右派ポピュリストが政権を奪取する可能性が高い。政権崩壊となった場合も、こうしたシナリオが現実味を帯びない限り、金融市場の動揺は限定的なものにとどまろう。今回の政変を乗り切った場合、年内の解散・総選挙の可能性は遠退く。マッタレツァ大統領の任期は2022年2月までで、イタリアの法律では任期満了までの6ヶ月間は議会の解散権を行使できない。

### イタリアの議会構成

|            | 下院<br>(定数630) | 上院<br>(定数315+終身6) |
|------------|---------------|-------------------|
| 与党（閣外協力含む） | 346           | 170               |
| 五つ星運動      | 191           | 92                |
| 民主党        | 92            | 35                |
| イタリア・ピバ    | 30            | 18                |
| 自由と平等      | 12            | 5                 |
| その他        | 21            | 20                |
| 野党         | 283           | 151               |
| 同盟         | 130           | 63                |
| フォルツァ・イタリア | 91            | 54                |
| イタリアの同胞    | 33            | 19                |
| その他        | 29            | 15                |
| 空席         | 1             | —                 |
| 合計         | 630           | 321               |

出所：イタリア議会資料などより第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。